

## 褥瘡対策委員会の現状と未来

西村 広江

キーワード：褥瘡処置・ケア方法、栄養評価、ポジショニング

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 129-130)

### はじめに

当院の褥瘡対策委員会は、院内で適切な褥瘡対策を行うために多職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ担当者、医事課事務職員）で連携して取り組んでいる。

### 活動内容

#### ① 褥瘡対策委員会：

毎月開催し、褥瘡発生率、院内発生数の報告、ラウンドの報告、各職種による勉強会を行い、褥瘡対策における問題点などを話し合っている。

#### ② 褥瘡ラウンド、カンファレンス：

第2、4火曜日に実施し、入院時既から褥瘡を有している患者、入院後に褥瘡を発生しラウンド依頼があった患者を対象にしている。褥瘡処置、ケア方法、薬剤の選択、栄養評価、ポジショニングなど、多職種で連携しよりよいケアの提供が出来るように努めている。

#### ③ 研修会の企画・運営：

年1回全職員を対象に知識、技術の向上のために開催している。

#### ④ 体圧分散寝具（エアマット）の管理、整備：

各部署、所定の場所に収納することで、適切に、速やかに使用できるよう管理、整備し予防対策を行っている。

#### ⑤ 褥瘡対策マニュアルの整備：

必要時に見直している。

#### ⑥ 地域での褥瘡予防・治療に関する教育：

出前講座の依頼があれば、多職種で出かけ、講義、実地を行っている（図1）。

#### ⑦ 褥瘡計画書の立案：

病棟看護師は、褥瘡に関する危険因子の評価を行い、予防やケア方法の計画を立案している。褥瘡対策チームの看護師は、計画が適切かを確認し承認作業を行っている。

### 今後に向けて

来年度には、皮膚・排泄ケア認定看護師が誕生する予定である。院内、地域においても質の高い看護の提供と教育が可能となる。また、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定にもつながり、病院運営にも期待できる。



図1 褥瘡予防の出前講座

雲南市立病院褥瘡対策委員会、同看護部看護科

著者連絡先：西村広江 雲南市立病院看護部看護科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕

E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Present status and future perspective of the committee  
on countermeasures for pressure ulcer in Unnan City Hospital.

Hiroe Nishimura

---

Committee on countermeasures for pressure ulcer, Department of nursing care, Unnan City Hospital  
Correspondence: Hiroe Nishimura, Department of nursing care, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane  
699-1221, JAPAN]  
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501  
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp